



毎度ありがとうございます。明昌です。

梅雨の時期がやってまいりました。台風も近づいている今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。落ち着いていた生産も忙しくなってきたようです。梅雨が過ぎればもう夏。トラブルが発生しやすい時期になりますので、突発的なトラブル回避のためのメンテ対策をお勧め致します。さて今号では、IGAS2018出展のご案内や、営業スタッフ・渡利からのご紹介&ご提案などお役に立てる内容をお届けいたします!

IGAS2018に出展します!



7月26日(木)から東京ビッグサイトで開催されますIGAS2018に出展いたします。今回はブースを広めにお借りして、『魅せる展示』を考えてみました。ご来場いただいた皆様に興味を持っていただき、楽しんでいただける展示を強調したいと準備をしております。7月31日(火)までの開催です。弊社のブースは東6棟の6-23です。入口のそばですので見つけやすいと思います。ご来場に関するご相談などございましたら、弊社営業スタッフまでお問い合わせ下さい。

皆様のご来場を楽しみにお待ちしております!!!



Mr.渡利からのLet's Try!



営業開発部
渡利です!

皆様いつも大変お世話になっております。明昌(株)渡利です。

今回は、簡易ロール深度測定スコープ、セルチェックシステム・ミルの概念にとらわれない使用方法をご紹介します。

通常の使用法としては、アニロックスロールの状態を把握する為に、目詰まりの深度測定、ロールの摩耗や傷の確認など日々のメンテナンスにお役立て頂いておりますが、ミルを所有されているお客様より、目から鱗の使用法をお聞きしたのでご紹介致します。

ダンボール印刷のお客様では、ダンボールに小さな赤い点があり、お客様より血が付いているとのクレームを受けてミルで確認してみたところ、赤のインキ飛びで有る事が明確になり、お客様に報告してご納得頂いたとお聞きしました。

オフセット印刷のお客様では、紙に小さな剥離があり、ルーペ等では確認が出来なかったが、ミルの400倍率を用いて確認したところ、剥離した紙の上に印刷が載っていた事が分かり、印刷機で剥離したのでは無く、元の紙に問題が有った事が明確になったと喜んで頂きました。

他にもグラビアロールの目詰まり確認や、印版のドットの確認等、様々な形で活躍しています。使用法は無敵大に有りそうです。もちろん、アニロックスロールの状態を把握して計画的なメンテナンスをして頂くことで、印刷品質の安定とロス削減、時間短縮に繋がります。

お持ちで無いお客様は、是非ともご検討をお願い致します!

フレキソ印刷と共に65年 ~明日を見つめて 明日を拓く~



明昌株式会社

<http://www.meisho-c.co.jp>

〒532-0011大阪府大阪市淀川区西中島1-14-10(阪急電車・南方駅から徒歩1分)

TEL:06-6304-8340 FAX:06-6305-6788 E-mail:ask@meisho-c.co.jp

